





世界を、かたちづくる

一枚のまっさらな金属から、私たちはあらゆる形を作り出します。強く、軽く、美しく、そして正確に。

1935年の創業以来、東プレは塑性（プレス）加工技術の可能性を追求しつづけてきました。

自動車が、安全と環境に配慮した走りを実現するその時、冷凍車が、食の安全をより確かなものにしていくその時、
私たちが生み出してきた数々の製品が、そこに活かされています。

クリーンな空気を守る空調機器にも、IT社会に欠かせない電子機器にも、私たち独自の技術と発想が息づいています。
形を作ることは、暮らしやビジネスのスタイルを作ること。形を変えていくことは、社会のあり方を変えていくこと。
東プレが作り出しているのは、世界の新しい形です。



TOP MESSAGE

塑性加工技術を進化させ、応用し、 お客様のニーズに応えつづける

東プレは1935年の創業以来、コアテクノロジーである塑性（プレス）加工技術と金型設計技術を進化させてきました。今日ではそれらの技術を応用し、自動車関連製品だけでなく、定温物流や空調機器、電子機器の分野においても高品質な製品を提供し、お客様から高い評価をいただいております。

企画設計段階から開発に携わる一貫生産体制や、独立系ならではの柔軟な発想と高い技術力、それらに裏打ちされた独創的な提案力が、他社に真似できない東プレの強みです。真のニーズを追求し、独自の発想と技術でモノづくりに取り組んでいます。

ここまで東プレは、お客様のニーズに対応するべくアメリカ、メキシコの北米地域や中国、タイ、インドネシア、インドのアジア地域での海外生産拠点を確立しました。

更に社会や環境に優しい企業を目指し、サステナビリティやESG、カーボンニュートラル達成に向けた活動などのCSRへの取り組みを、東プレグループ全体で推進してまいります。

東プレは今後も、お客様の課題を解決するために技術力をさらに進化させ、必要とされる企業として成長してまいります。

取締役社長

山 本 豊



基本理念

東プレグループは、卓越した技術を駆使して製品・サービスを創造し、社会に貢献することを使命とします。

経済的成果を追い求めるだけでなく、国際企業として社会から必要とされ、尊敬される企業として、高い倫理観と良識をもって企業活動を遂行します。

世界中で働く東プレグループの職員はこの理念を共有し、社会への貢献と企業の永続的な繁栄を求めて行動します。



行動指針

1 法令、社内諸規定、社会道德の順守

- 企業活動に適用される各種法令を順守します。
- 公正で透明性の高い企業活動を行う為の社内諸規程を整備し、順守します。
- 社会の一員としての道德・規範を順守します。
- 内部通報窓口を設置し、違反に対しては適切に対応し、予防・是正を行います。
- 経営者は倫理観の高い企業風土を確立します。
- 経営者は本行動指針に反する事態を防止する社内体制を整備します。

2 社会への貢献

- 社会をより安全に、便利に、快適にする製品・サービスを提供します。
- 周辺地域社会の文化・習慣を尊重し、活動に関わり、発展に寄与します。

3 公正・公平な関係の確立

- 利害関係者と公正・公平で節度ある関係を築きます。
- 取引の透明性を維持し、常識を逸脱した接待や贈答授受を行いません。
- 反社会的勢力と一切関係をもたず、不当要求には毅然とした態度で組織的な対応をします。
- 経営内容、事業活動等の企業情報を適時かつ適切に開示します。
- 政治・行政関係者への不正な行為や公正・公平を欠く行為を行いません。

4 人権と多様性の尊重

- 人権を尊重し、人種、信条、性別、国籍、身体的特徴、その他の理由による差別及び様々なハラスメント等はいかなる場合も容認しません。

5 環境保護の推進

- 地球環境保全を東プレグループ全体で取り組みます。
- リデュース、リユース、リサイクルの3Rを推進し省資源に努めます。
- 温室効果ガス排出削減に対し積極的に取り組みます。

6 安全衛生の確立

- 社員の安全と健康の確保を最優先に対応します。
- 労働災害を無くし、安全で健康的な職場環境を作ります。

7 会社資産の保護

- 会社財産の私的流用及び業務目的以外の使用を禁止します。
- 会社情報や資産の不正流出、不当利用を行いません。
- 資産の取得/使用/処分は正当な手続きで行い、特定の人の利益としません。

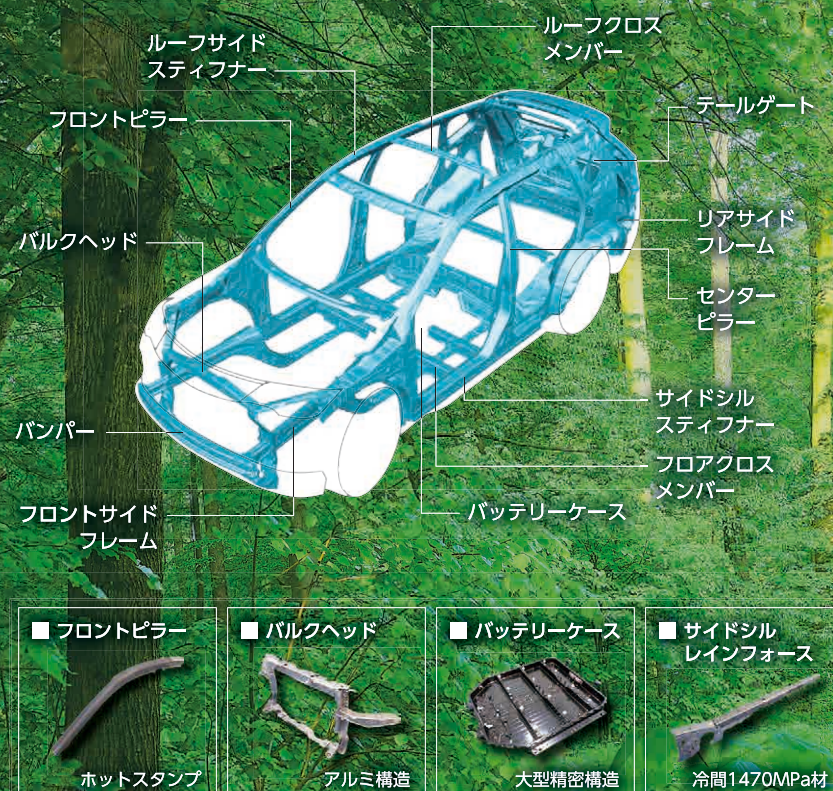
8 情報セキュリティの確立

- 個人情報や機密情報の管理・保護に関し規程等を整備し、順守します。

自動車関連製品

クルマと地球の未来のために、
強度と軽さを両立する
高品質な自動車部品を

より安全で、より環境に配慮した自動車づくりのために。
東プレは骨格部品のさらなる高強度化と軽量化を追求。
未来を見据えたふたつの視点で、クルマ社会を支えます。



常に新しい可能性を追求し、
お客様のニーズに応える製品を世の中へ

迅速にアイデアを実行できる環境を整え、日々、高品質な製品開発に取り組む東プレ。
独自の発想と高い技術力で、次世代のクルマ社会を支える製品を生み出します。

クルマの未来を 骨格から支える

独立系ならではの発想と企画設計力
最適な提案を可能にする、東プレ製品開発システム



提 案

東プレ製品開発システムを基に、
メーカー様が求める、軽さや
強度、コストを実現する製品を提案

量 産

一貫した生産体制を整え、
企画から開発、量産までを
スピーディーに実施

性能解析

東プレの高精度な性能解析で車輻性能を評価。
これにより、手戻りが少ない、迅速で正確な
製品開発を実現しています。



Think Mobility. Think the Earth.

東プレの技術力

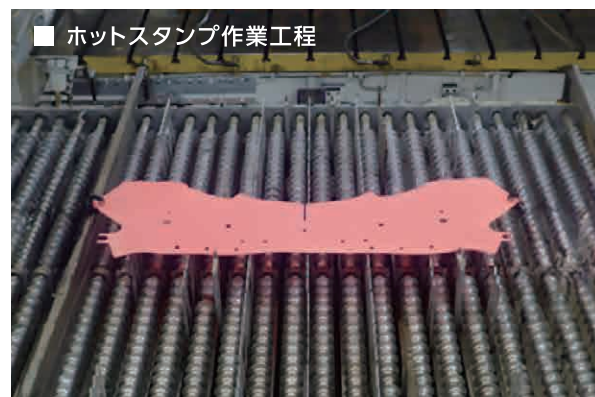
プレス技術

形状凍結が難しい 超ハイテン材の加工技術

東プレは独自のノウハウを活かし、ハイテン材プレス部品の製品化をいち早くスタート。現在では、1470MPa級の強度をもつ超ハイテン材の加工も手の内化し、自動車骨格部品の高強度化・軽量化を支えています。



■ ホットスタンプ作業工程



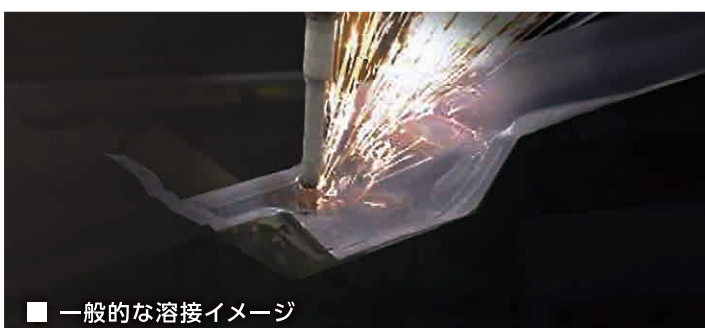
常に進化を続ける、 東プレのホットスタンプ工法

材料の高強度化に伴い、形状の凍結性難易度が高まっています。東プレでは冷間プレスの加工技術と並行して、ホットスタンプによる加工技術にも磨きをかけてきました。現在は、ホットスタンプ工法による一体成形製品の加工技術開発にも注力し、冷間プレスとの二刀流を推し進めています。また、高品質な製品をより早く提供できるように、生産性向上のための設備開発にも積極的に取り組んでいます。

溶接技術

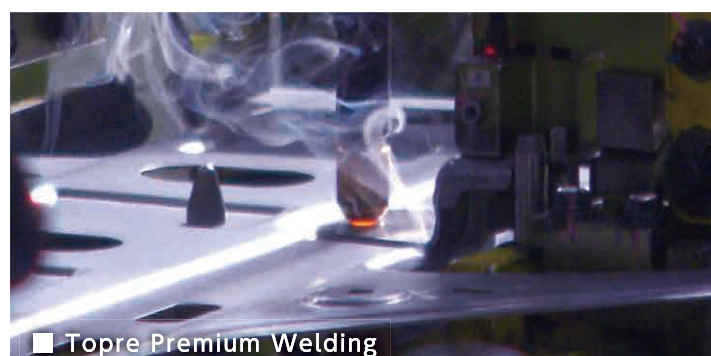
製品の品質を守る、 Topre Premium Welding

東プレでは、蓄積された経験値から独自の溶接条件を確立。溶接設備の適切な選定やプレス品の合わせ面精度管理により、高精度な溶接を実現。溶接時に発生するスパッタ（火花）抑制にこだわり、製品の強度維持や不具合防止だけでなく、作業者の安全や工場内の環境維持にもつなげています。



■ 一般的な溶接イメージ

製品の一部がスパッタ（火花）として飛び散るため、強度低下の原因に。



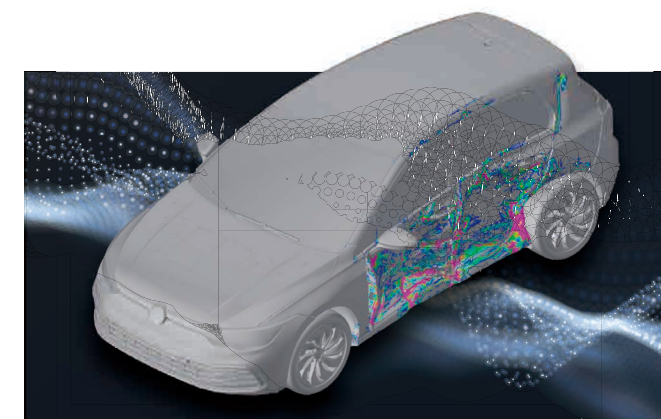
■ Topre Premium Welding

スパッタ（火花）が発生しないため、溶接品質が安定。

東プレの解析力

実車試験と高性能CAEを駆使した 高精度な解析

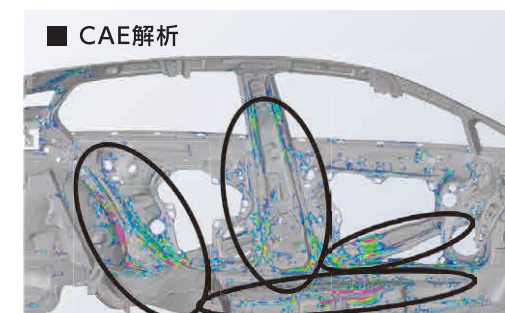
CAE（コンピュータ強度解析）に加えて、東プレでは実車試験による解析を新たに導入。これにより、シミュレーションによる解析だけではなく、実際の結果に基づいた現実性の高い解析が可能になりました。この解析力を駆使して、お客様のニーズに沿った最適な構造を具現化し提案します。



■ 実車を使用した衝突性能評価



■ CAE解析

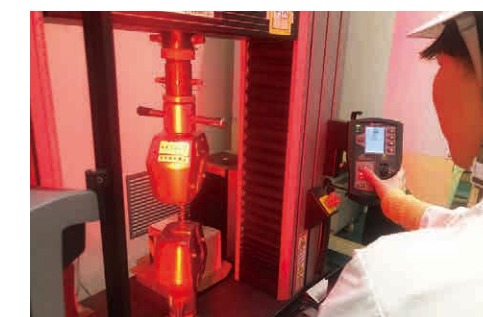


結果
フィードバック

全世界の材料を一括評価し、 材料特性値をデータベース化

Topre
One-Stop Lab.

相模原ラボでは、最新の材料評価設備と東プレオリジナルの評価手法で、高精度な材料試験を実施しています。この試験結果をデータベース化し、開発段階での解析や、量産における不具合発生時の原因究明に活用。これにより、世界各国どここの拠点においても、高品質で安定した製品の提供を可能にしています。



定温物流関連製品

冷凍車国内シェアNo.1※
コールドチェーンを支える生産技術

東プレ独自の生産体制と多彩な先進技術が
お客様のニーズに適した高機能製品の提供を可能に。
多くの企業に選ばれている、信頼の東プレ冷凍車。
今日もどこかで、コールドチェーンを支えています。

国内で唯一、コンテナと冷凍装置を
「自社で開発・一貫生産」

さまざまな商品をより安全に届けるためには、配送時の緻密な温度管理が
欠かせません。東プレは国内で唯一、コンテナと冷凍装置を一貫生産する
ことで、緻密な温度コントロールを実現する、高品質・高性能な冷凍車を提供。
BEV/FCEVなど、最新のトラックシャーシにも対応しており、ニーズに
応える体制を整えています。東プレはこれからもコンテナ、冷凍装置ともに
多彩なラインアップを揃え、お客様に最適な一台を提供してまいります。



東プレの一貫生産が可能にする3つの価値



オーダー
対応が可能

コンテナ、冷凍装置、多彩なオプションを
自由に組み合わせ可能。軽車輛から大型車
まで、お客様の要望に合わせた冷凍車を
提案・提供します。

短納期対応

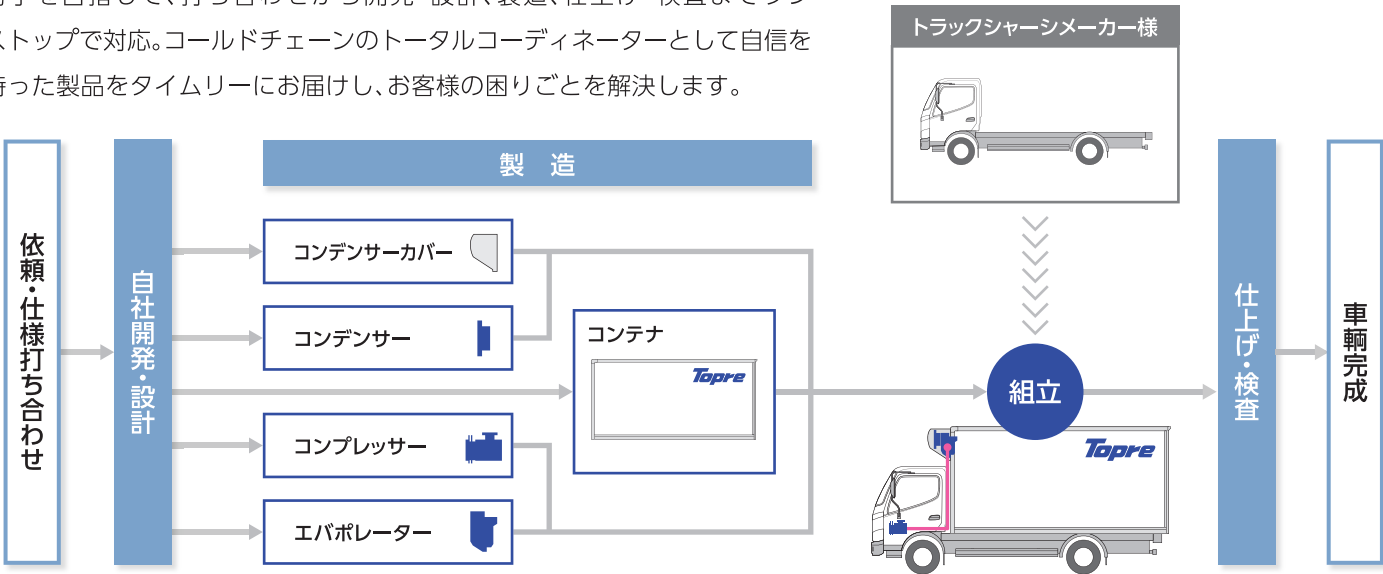
トラックシャーシ搬入前から、コンテナ
および冷凍装置を生産。シャーシ搬入後、
速やかに架装するため、短納期でのお届け
が可能です。

購入後も
安心の
メンテナンス

コンテナと冷凍装置を自社で開発・一貫
生産しているため、アフターセールスに
おいてもワンストップサービスが可能。
修理の段取りでの手間をとりません。

お客様のニーズに応える機能・装備をタイムリーにお届け

東プレは、サイズ・温度帯などお客様が求める冷凍車を丁寧にヒアリングし、安全・安心な装備を付加してご提案します。より良い使い
勝手を目指して、打ち合わせから開発・設計、製造、仕上げ・検査までワン
ストップで対応。コールドチェーンのトータルコーディネーターとして自信を
持った製品をタイムリーにお届けし、お客様の困りごとを解決します。



冷凍装置

東プレ独自の技術と発想で、 先進技術搭載の高機能装置を開発

東プレは他にはない技術と発想で、食品の配送に革新をもたらしてきました。業界最軽量のフレーム構造と高効率熱交換システムで冷却能力を向上させた「XVシリーズ」をはじめ、冷媒回路のみで冷却も加温もできる、新しい冷却加温システム「RHシステム」など、これまで冷凍車の進化を支えるさまざまな先進技術を開発。また、省エネや排出ガス削減に貢献する冷凍装置など、東プレの技術は環境問題にも高いレベルで対応しています。冷却性能や耐久性を高めつつ、環境負荷を軽減する。それが東プレの冷凍車の使命です。



ヒートポンプ技術を採用した 新・冷却加温システム

冷媒回路のみで冷却・加温運転ができる「RHシステム」。新たにヒートポンプ技術を利用し、寒冷地配送への対応とコンテナ内の乾燥機能を追加しました。



業界最軽量のフレームと 高効率の熱交換システムを搭載

環境効果に優れた、省エネ型直結式冷凍装置「XVシリーズ」。軽量フレームと高効率熱交換システムを搭載し、従来機種に比べて、冷却能力を10%以上向上させました。



環境問題に高いレベルで対応 省エネと排出ガス削減が可能

環境に配慮した発電式冷凍装置「GBS」。走行中に発電機で発電し、余った電気をバッテリーに蓄電するので、アイドリングストップ時も温度管理が可能になります。



効率的で経済的な 都市型冷却システム

機械式と冷凍板式を組み合わせた冷却システム。走行中は機械式装置で直接冷却し、エンジン停止中（アイドリングストップ中）は冷凍板で庫内温度を維持します。



コンテナ

最適な素材を使用し、 断熱性・気密性の高い構造を実現

独自のコンテナやドアの構造によって、断熱性・気密性に優れた設計を実現し、配送時の緻密な温度管理を可能にしています。コンテナの素材には、耐久性・防錆性に優れたFRP素材と、軽量性に優れたアルミ素材の2種類を採用しており、用途に応じた選択が可能です。コンテナの製作にあたっては、積み荷のサイズに合わせて施工するほか、積み荷の温度に合わせた断熱材を採用。さらに床材、ドア種類などの充実したオプションの組み合わせにより、お客様のニーズに応え、最適な冷凍車ソリューションを提供してまいります。



幅広いニーズに応える、豊富なラインアップ

さまざまな車輛用のコンテナを多数取り揃えています。

サイズ	軽自動車／4ナンバー車／2トン車／3トン車／4トン車／大型車
素 材	耐久性・防錆性に優れたFRP素材 軽量性に優れたアルミ素材
温度帯	低温仕様、中温仕様、加温仕様



「環境にやさしい冷凍車」作りを目標に 工場における生産過程でも環境への配慮を心がけています

- ① 冷凍車は、自動車リサイクル法の規制対象外ですが、自主行動計画に基づき使用済み冷凍車の適正な処理を実施するための情報を提供させていただきます。
- ② 使用済み冷凍車の廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）のため、社内ガイドラインを作成。チェックリストでモデルチェンジおよび設計変更時の確認を行い、環境にやさしい冷凍車づくりに努めております。
- ③ 冷凍車生産過程に発生する廃棄物はリサイクル処理率95%以上を達成しております。
- ④ 環境負荷4物質の削減について、日本自動車車体工業会の計画に沿って活動し、目標を達成しております。
- ⑤ 木材使用率の低減に向けた構造開発に努めております。
- ⑥ 断熱性能向上のため、高性能断熱材の採用を進めております。
- ⑦ 冷凍装置用フロンガスは、地球温暖化係数の低い冷媒を採用しております。
- ⑧ 生産用電力には太陽光を利用した再生エネルギーを併用し、CO₂削減に努めております。



空調機器関連製品

高効率化や 静音性を追求し、 “理想の空気”を 生み出す

見えないけれど、人々の“快適”を左右する空気。

東プレでは、すべての人が暮らしやすく、働きやすい、

快適な環境づくりのために、長年培ったノウハウと技術で、

さまざまなシーンに合った“理想の空気”を届けています。

風量制御性、清浄性、省エネ性、 静音性、リサイクル性を 高いレベルで実現した製品を開発・提供



東プレ独自の塑性加工技術を駆使することで生まれた「シロッコファン」と「プラグファン」。大小100種類以上のラインアップを取り揃え、台所用換気扇、業務用エアコンなどへの採用をはじめ、世の中のあらゆる場所で活躍しています。

また、業界に先駆けてシックハウス症候群の解決に取り組み、24時間換気システムの開発と製品供給を実現。最新機器においては、より省エネ性の高いDCモータと制御技術を用いて各々の住宅に必要な風量のみを供給可能としています。

一方、産業空調業界にもさまざまな機器を提供。オフィスビル内の風量制御を実施するVAV（可変風量装置）や、半導体工場・病院手術室内への空気供給に欠かせないFFU（ファンフィルターユニット）など、製品発売当初より、数多くの場所へ機器提供を実施しています。さらに、2050年カーボンニュートラルへ向けて、省エネニーズが高まっていることや、快適な空気環境が求められていることから、産業用・戸建住宅用ともに調湿機能付換気システム（デシトップ・デシトップマルチベント）の展開を進めています。湿度コントロールを行い、余分な冷暖房費用の削減につなげていく。そうすることで快適な空気環境を実現してまいります。

大小100種類以上のファンから、 ユニット、空調システムまで 国内で高いシェアを誇る、 空調機器関連製品ラインアップ

24時間換気システム デシトップマルチベント



6つの換気モードを搭載し、自然で快適な温湿度環境を保つ一般住宅用換気システム。

住宅用換気システム 1



業界最高水準の熱交換効率を実現した第一種熱交換型換気システム。

住宅用換気システム 2



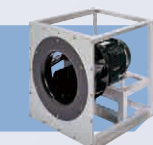
業界初の画期的なシステム・サイクロン防虫機構搭載の「ダクトレス換気システム」も製品化。

冷凍式エアドライヤ



メンテナンスも簡単で低騒音の冷凍式エアドライヤ。豊富なラインアップをご用意。

送風機（エアロトップ）



高効率&低騒音を両立した大小100種類以上のファンをご用意。

デシカント外気処理機 デシトップ



これまで蓄積された技術を駆使し、省エネルギー化に効果がある外気処理機を商品化。

クリーンユニット



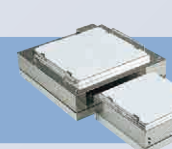
高度な空調技術を駆使し、低騒音、省電力を追求したクリーンユニットを開発。

バブコンVAV 空調システム



業界初プロペラセンサーを搭載した可変風量装置。

装置・局所用 ファンフィルターユニット



低騒音と薄型化を実現。製造装置や局所空気清浄に最適な薄型ユニットを提供。

それぞれの環境に合わせた、 「最適な空気」の答えを

東プレの空調機器関連製品は、さまざまな場所で快適な空気を届けています

快適な空気環境の実現や省エネ化など、お客様の幅広いニーズや事業所の環境に合わせて、的確なご提案と高品質な製品のご提供を実施。
今も、オフィスビルや工場、病院など、さまざまな場所で東プレ製品が活躍しています。

脱炭素化時代に対応した、 東プレ製品を採用

NX羽田ビル 様 東京都大田区

〈採用機種〉TD050HP-S20RDA-HX
〈設置場所〉各階事務室

「環境への配慮」「地域社会との連携」「先進技術の実証」という3本柱が設計のコンセプト。脱炭素化時代に対応した、省エネ・創エネ技術を有する環境先進ビルとして計画され、快適性も確保することで、業務の生産性向上にも寄与できる計画に基づいたビル。



デシカント空調により、電気代を20%程度削減

MFLP(三井不動産ロジスティクスパーク)海老名I 様 神奈川県海老名市



〈採用機種〉TD050HP-S20RDA-HX
〈設置場所〉各階事務室

温度と湿度を別々に調節でき、快適な省エネ室温設定が可能なデシカント空調を導入。湿度を化学吸着で取り除き、余計な湿気を室内に持ち込まないことで、電気代20%程度削減という省エネ効果を発揮。

院内の空気品質を最適化

地方独立行政法人 市立秋田総合病院 様 秋田県秋田市

〈採用機種〉TMFX-(85,100,130,170,200)WCD-P 5機種
〈設置場所〉ICU、病室など

集中治療室(ICU)のほか、薬剤室、手術ホールにクリーンユニットを導入しており、高度な清浄技術で患者様の安全と快適さを確保。医療スタッフから高い評価を受けています。



住宅用空調機器

住宅の空気問題を解決する、 日本の気候に適した製品を開発

高気密・高断熱化が進む現在の住宅においては、ホルムアルデヒドなどの化学物質による「シックハウス症候群」が問題になっており、室内の計画的な換気が求められています。東プレでは、これらを解消する住宅用換気システムを、機械換気が法制化される以前から、業界に先駆けていち早く製造・販売。日本の四季にそと寄り添う24時間換気システム「デシトップマルチベント」をはじめとした、日本の住宅に快適な空気をお届けするためのさまざまな製品を提供しています。



高気密化する住宅を快適に保つ、 独自の住宅用換気システム

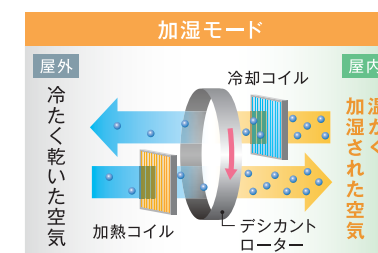
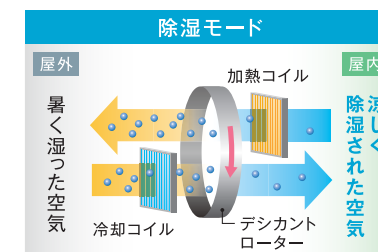
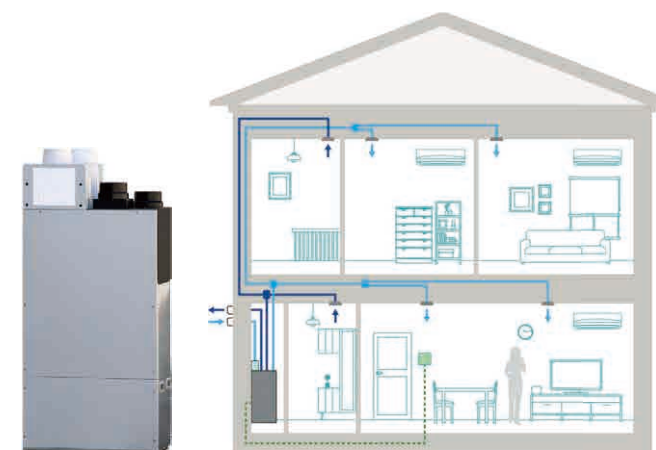
24時間換気システム「デシトップマルチベント」は、独自の送風・ヒートポンプ技術により、換気を通じてお部屋の空気をきれいにするとともに、湿度の調整や、やさしい涼風・温風によって冷暖房をアシスト。春の花粉や梅雨の湿気、冬の乾燥など、季節ごとの空気のお悩みに対応することで、自然で快適な住環境に貢献します。

これまでの累計出荷台数は90万台以上を達成。大手ハウスメーカー様からも高い評価を得ている東プレの住宅用換気システムです。

DesiTop MultiVent
日本の四季を心地よく



24時間換気システム デシトップマルチベント



電子機器関連製品

常に最先端を走る、
東プレの
高品質デバイス

デバイス技術を活かして、IT社会の形を変えていく。
そんな思いから、常に最先端のデバイスを開発。
暮らしやビジネスのあらゆる場面で不可欠な情報技術を、
東プレならではの高品質デバイスで支え続けます。

コンシューマー向けキーボード

人間工学に基づいて設計された
キーボードブランド「REALFORCE」を展開

「本気な人に相応しい最高の仕事道具」をコンセプトに、東プレ独自の静電容量無接点方式を活かして開発・製造されたPC配列キーボード「REALFORCE」。人間工学に基づいた設計で、入力時の静かさと滑らかなキータッチ感を実現。長時間の入力作業でも疲れにくく、耐久性にも優れているため、ビジネスシーンのほか、eスポーツ向けのゲーミングデバイスとしても高い支持を得ています。



技術やモノづくりの品質の
高さは信頼の日本基準

2001年のブランド発足以来、日本で開発し続けており、日本のものづくりならではの「高い技術」と「品質」で信頼を得ています。



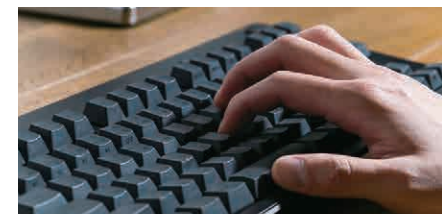
仕事場のノイズや
フリクションを徹底的に排除

デザインから機能に至るまで、ノイズやフリクションを徹底的に排除することで、仕事やゲームに集中できる環境を生み出します。

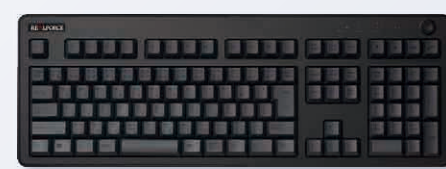


使っていてクセになるような
洗練された心地良さ

プロユース向けの商品だからこそ、長時間のご使用でも疲れにくく、使っていてクセになるような洗練された心地良さにこだわりました。



PC周辺機器ブランドとして、高性能・高品質な商品を展開



REALFORCE
R3キーボード R3HA11
無線接続とUSB接続可能なハイブリッドモデル



REALFORCE
R3キーボード R3HG21
無線接続とUSB接続可能なMac対応のハイブリッドモデル



RFM02U21 (ダークグレー) RFM02U31 (スーパーホワイト)
REALFORCE RM1 マウス
静電容量無接点方式スイッチを採用した有線マウス



REALFORCE
R3Sキーボード R3SC11
USB接続専用のスタンダードモデル



REALFORCE
RC1キーボード C1HJ11
REALFORCE初のコンパクトキーボード



REALFORCE
GX1キーボード X1UC11
静電容量無接点方式のゲーミングキーボード

産業機械用デバイス

高機能・高品質

多種多様なデバイスを
産業機械メーカー様に提供

電極相当部分での電荷の容量変化などを利用した静電容量技術をコアに、タッチモニタやパネルPC、キーボード、さらには産業装置の操作パネル一式まで、多種多様なデバイス製品を開発。快適な使い心地、優れた耐久性、高いセキュリティレベルを実現した最先端デバイスは多くのメーカー様に支持されています。これからも東プレは、常に最先端のデバイスを数多く社会に送り出し、独自のポジションを確立していきます。



[HMI／タッチモニタ／パネルPC]

独自開発の画像処理ボードやマザーボードを搭載
長期供給可能な高品質HMIを提供

東プレのタッチモニタ・パネルPCなどのHMIは、高品質・長期供給対応により、FA装置・情報端末・券売機など多彩な場面で活躍しています。カスタマイズにも柔軟に対応しており、お客様のニーズに合う製品を提供します。

コンパクトさと操作性を
両立したタッチモニタ



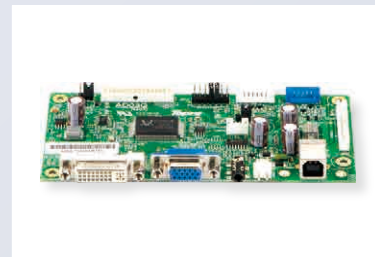
- 抵抗膜／静電容量／光学式という3種類をご提供
- 液晶サイズは5.7インチ～32インチまで
- 液晶本来の高画質を引き出す自社開発の画像処理ボード
- 視野角制御フィルムの装着や、お客様装置への取り付け容易化を図った板金カスタマイズ対応

業界から大きな注目を
集めるパネルPC



- タッチパネル付きPC（パネコン）
- 振動の多い場所や温度範囲が広い場所にも設置対応

各種映像信号に対応した
自社開発ボード



- アナログRGB、DVI、HDMI、DisplayPortなど、各種映像信号に対応した自社開発画像処理ボードによって液晶本来の高画質を実現



[PINPAD]

高いセキュリティレベル、優れた耐久性を有する
高品質な暗号化PINPADを提供

暗号化PINPADとして、PCI要件を満たした東プレ製PINPAD。独自の静電容量技術を生かした、優れた耐久性と高品質により銀行及びコンビニATMでの暗証番号入力用テンキーとして多く利用され、高いセキュリティを発揮しています。

クレジット業界のグローバルセキュリティ基準
「PCI」に準拠した信頼性

- PCI PTS 6.2認証取得
- キートップ印字は昇華印刷を採用／キートップ色はCUD対応
- オプション設定として、ファンクションキーへの接続可能
- カスタマイズ対応も可能

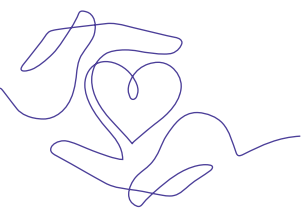


[OEMキーボード]

入力時の静かさや
抜群のキータッチ感を実現した、
静電容量無接点方式の
キーボードをOEM生産

長時間の使用でも疲れにくく耐久性にも優れているため、金融機関の業務用、計算センターでのデータ入力用など、多彩な用途に役立ちます。また、防水や耐油機能を施すことも可能なため、産業機器の入力機器としても採用されています。





CSR基本方針

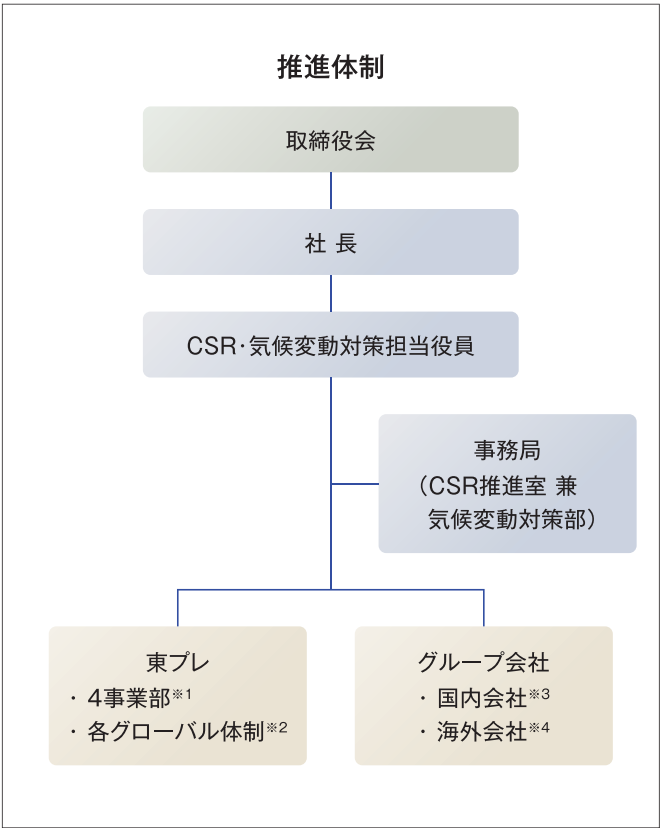
「基本的な考え方」

東プレは環境負荷を軽減する製品・サービスの提供を第一に考え社会に貢献します。

1. 企業として人としての倫理と法令順守を徹底し、公正と透明性を図ります。
2. 社会への貢献活動、サステナビリティへの取り組みを推進します。
3. 会社全体として環境問題への対応、環境保全への取り組みを積極的に行います。特に気候変動(CO₂削減)に対する取り組みを重視します。
4. 技術を高め、また開発し、顧客満足を通して社会に役立つ製品・サービスを提供します。
5. 全社員に安全で健康的な労働環境を提供します。
6. 利害関係者とのコミュニケーションを通して、協同しCSR活動を推進します。

CSR推進体制 及び 気候変動対策体制

当社グループは、取締役会をトップとしたCSR推進と気候変動対策に関して同じ体制で構築し、取り組みを実施しております。取締役会は社外取締役を含めた全員の取締役で構成され、議長は社長が担い、CSR・気候変動対策担当役員の指示のもと事務局より取締役会へ報告が行われます。定期的に年2回開催する東プレグループCSR全体会議開催においてサステナビリティへの取り組みの実績や計画が報告され、東プレグループCSR全体会議の結果は、取締役会に報告されています。また、サステナビリティへの取り組みについて重要な事案が生じた際は、CSR・気候変動対策担当役員を通じて取締役会にて審議されます。



※1:自動車機器/冷凍機器/空調機器/電子機器 事業部
※2:東プレグローバル体制:内部統制委員会、業務/購買/品質本部、ISO14001(環境)事務局、安全衛生委員会
※3:〈国内会社〉東邦興産、トブレック、東プレ九州、東プレ東海、三池工業
※4:〈海外会社〉アメリカ、中国(3社)、タイ、メキシコ、インド



気候変動への対応

当社グループでは、グループ全体で排出しているCO₂排出量の現状把握と、CO₂排出量の削減に向けた実行計画を管理していくため、2021年12月に気候変動対策部を設置しました。2050年のカーボンニュートラルを目指し、経営層から構成される気候変動対策体制を構築し、取り組んでいます。

地球規模の課題である気候変動問題への対応は今や必然となっており、当社グループはカーボンニュートラル達成に向けた取り組みとし、生産活動におけるCO₂排出量の把握を行い、CO₂排出量削減の長期目標を設定しています。国内・海外を問わず当社グループ全体で、省エネ改善、太陽光パネル設置、再生電力購入、CO₂排出権取引を基本に、「2030年度CO₂排出量30%削減」「2050年度カーボンニュートラル」を達成すべく段階的に削減を進めていきます。

当社グループは各施策を遂行することで、持続可能な社会の実現に向けて社会的責任を果たしていきます。

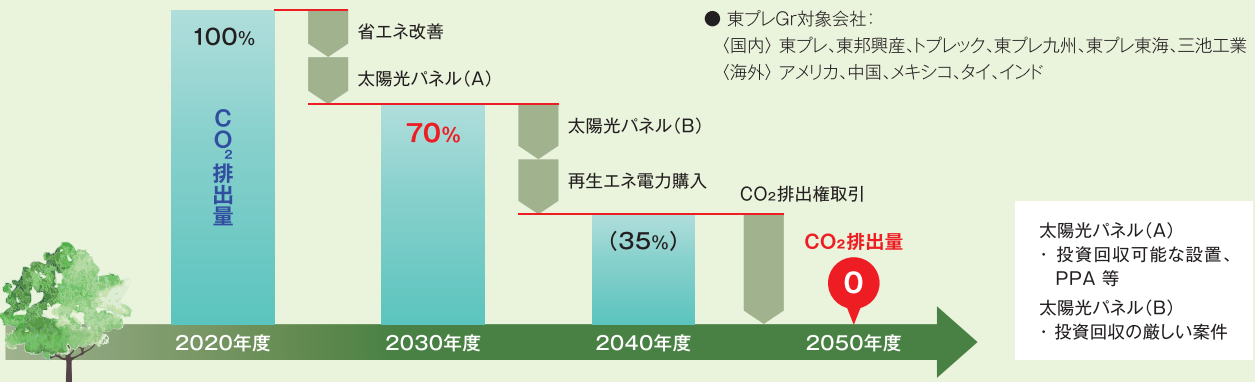
● CO₂排出量削減目標

2020年度を基準年度として、設定目標値を定めました。

※基準年度 2020年	年度 目標	2021～2030年度	2031～2050年度	
		3.0%	(3.5%)	
長期削減目標		2030年度 30%	(2040年度 65%)	2050年度 100%

■ 生産活動におけるCO₂排出量

2030年度:CO₂排出量30%削減
2050年度:カーボンニュートラル達成



人的資本経営の取り組み

● 基本方針

当社グループは、「何事にも主体性を持ち、常に事態を俯瞰し、論理的に仕事に取り組む人材の育成」を人事方針としています。経済活動がグローバル化し、国内では少子高齢化が進む中で、「客観的に状況を把握し、目標達成に向けて論理的に行動する集団」になることを目指しています。

● 重点テーマ

- 1) 人権の尊重
 - ・ 人権と多様性に関する教育の継続的な実施による理解/浸透
 - ・ 人権デュー・デリジェンスの実施によるガバナンスリスクの低減
- 2) 多様な人材の活躍
 - ・ 受容性と多様性のある職場づくり(ダイバーシティ推進)
 - ・ 柔軟な働き方のできる組織づくり(働き方改革/健康経営)
 - ・ 従業員一人ひとりの個性にあわせた育成/指導(人材育成)

品質マネジメント

当社工場及び国内外子会社・お取引先様は、品質保証体制をISO9001またはIATF16949の規格要求事項・顧客要求事項・法的要求事項を基に標準化し、品質マネジメントシステムを構築し運営管理を行っています。組織としては品質本部をトップに置き、当社グループとしてグローバル体制を構築しています。

サプライヤーパートナーシップ強化

お取引先様は、高品質な製品を安定して生産するための大切なパートナーであり、協力体制の構築が重要と考えています。当社グループでは、年に一度「サプライヤー大会」を開催し、当社グループの現況や戦略、購買方針、東プレの取り組みなどをご説明しています。CSRや環境を重視した調達を推進し、グループ全体でお取引先様との信頼関係の構築に努め、ともに持続可能な社会の実現に貢献していくことを目指しています。

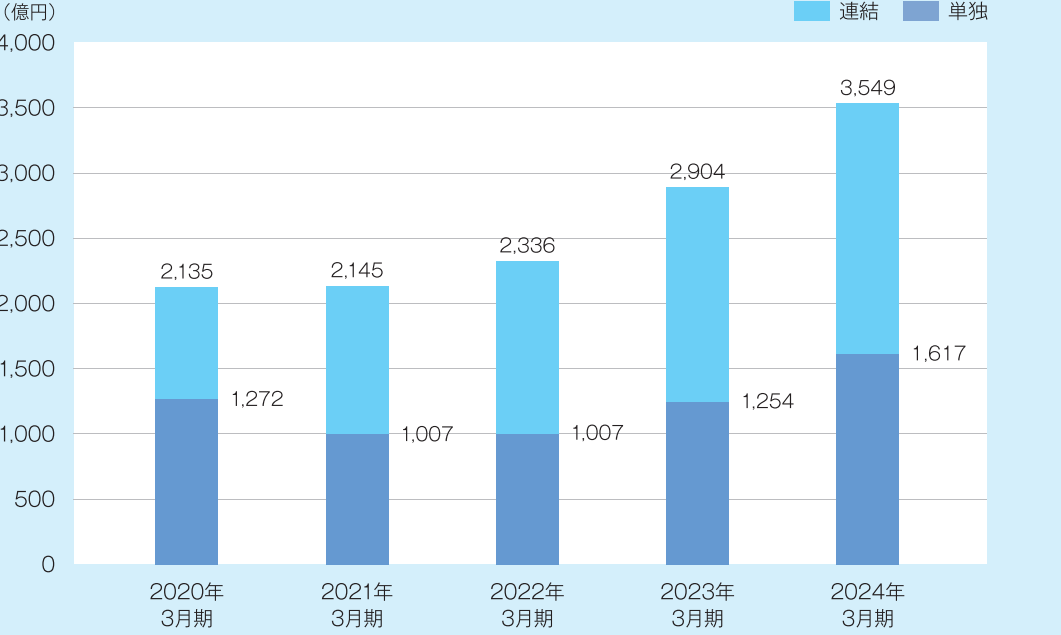
日本から世界へ広がる東プレネットワーク



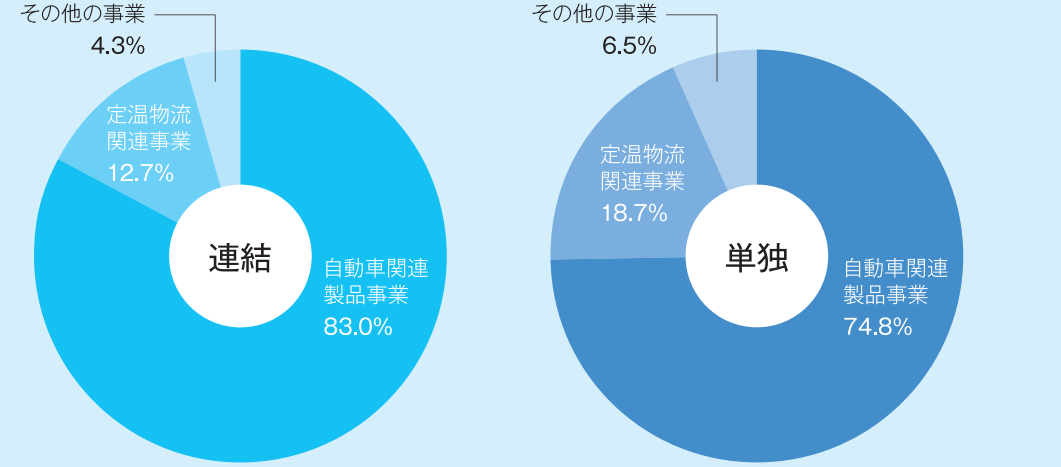
会社概要

- 社 名／東プレ株式会社
- 英 文 社 名／Topre Corporation
- 設立年月日／1935年4月30日
- 資 本 金／56億1千万円(2024年3月末日現在)
- 売 上 高／連結3,549億円(2024年3月期)
単独1,617億円(2024年3月期)
- 株 式／東京証券取引所プライム市場
- 本 社／〒103-0027 東京都中央区日本橋3-12-2(朝日ビル)
- 代 表 者／代表取締役社長執行役員 山本 豊
- 事 業 所／工場:相模原、広島、栃木、岐阜、埼玉
- 従 業 員 数／連結6,834名(2024年3月末日現在) 単独1,504名(2024年3月末日現在)

売上高推移



売上高構成比



会社沿革

- 1935年 4月 東京プレス工業株式会社設立(江東区大島町)資本金 30万円
- 1960年 7月 神奈川県相模原市に工場新設(相模原事業所)
- 1964年 3月 広島県東広島市にプレス・組立工場を新設(広島事業所)
- 1968年 9月 冷凍、冷蔵車業界へ進出
- 1970年 1月 空調機器業界へ進出
- 1971年 11月 栃木県河内郡に工場新設(栃木事業所)
- 1979年 9月 岐阜県加茂郡に空調機器工場新設(東プレ岐阜)
- 1983年 10月 電子機器業界へ進出
- 1985年 10月 東プレ株式会社に商号変更
- 1991年 10月 トプレック株式会社を設立
- 2001年 4月 福岡県久留米市に自動車機器工場新設(東プレ九州)
- 2004年 6月 アメリカ アラバマ州に自動車機器工場新設(Topre America Corporation)
- 2009年 7月 埼玉県比企郡に自動車機器工場新設(東プレ埼玉)
- 2010年 1月 中国 広東省に自動車用プレス部品の製造・販売会社を設立(東普雷(佛山)汽車部件有限公司)
- 2010年 12月 タイ バンコク市に自動車部品販売会社を設立(TOPRE(THAILAND)CO., LTD.)
- 2012年 2月 中国 湖北省に自動車用プレス部品の製造・販売会社を設立(東普雷(襄陽)汽車部件有限公司)
- 2012年 3月 メキシコ ケレタロ州に自動車用プレス部品の製造・販売会社を設立(Topre Autoparts Mexico, S.A. de C.V.)
- 2014年 1月 三重県鈴鹿市に自動車機器工場新設(鈴鹿工場)
- 2015年 5月 インドネシア バンテン州に冷凍装置および保冷コンテナの製造・販売会社を設立(PT.TOPRE REFRIGERATOR INDONESIA)
- 2016年 1月 三重県員弁郡にて自動車機器工場を譲受け(東プレ東海)
- 2017年 2月 インド グジャラート州に自動車機器工場新設(Topre India Pvt. Ltd.)
- 2017年 4月 連結子会社である東プレ埼玉を吸収合併
鈴鹿工場を東プレ東海へ事業譲渡
- 2017年 10月 連結子会社である東プレ岐阜を吸収合併
- 2019年 3月 中国 湖北省に自動車機器工場新設(東普雷(武漢)汽車部件有限公司)
- 2019年 5月 三池工業株式会社を連結子会社化
- 2020年 4月 連結範囲の見直しを行い、東京メタルバック株式会社を連結除外
- 2020年 7月 連結子会社であるトソプ工業株式会社を吸収合併
- 2021年 4月 連結子会社である株式会社栃木三池を清算
- 2022年 4月 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、
東京証券取引所の市場第一部からプライム市場に移行

役員一覧

代表取締役社長執行役員	山本 豊	常務執行役員	松尾 雅弘
取締役専務執行役員	原田 勝郎	執行役員	山城 活博
取締役専務執行役員	露木 好則	執行役員	木下 武人
取締役(社外)	高田 剛	執行役員	持田 智彦
取締役(社外)	小笠原 直	執行役員	矢吹 譲次
取締役(社外)	緑川 芳江	執行役員	野田 貴之
監査役(常勤)	北林 富雄	執行役員	原田 哲州
監査役(社外)	佐藤 政彦	執行役員	石原 勸浩
監査役(社外)	田中 秀一		

東プレ株式会社
www.topre.co.jp

